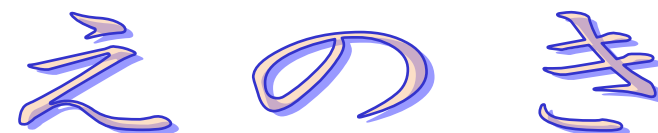




吉川市立旭小学校



あかるい笑顔 さわやかな汗 ひとみ輝く 伝統校

〒342-0006

学校教育目標
あすを生きる
豊かさ学ぶ
あさひの子

吉川市南広島 1940

令和2年8月28日 発行

TEL.048-991-2156

「我慢」と「辛抱」

校長 栗原 元一

8月17日（月）、第2学期始業式で子供たちに以下の話をいたしました。

今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今までの夏休みとは随分と違ったことだったと思います。友達とたくさん遊んだり、どこかに家族で出かけたり、花火をしたり、プールでたくさん泳いだりすることができず、やりたいことをせずに辛抱した人がたくさんいることと思います。また、感染予防の努力もたくさんしてきたことと思います。しかし、みなさん一人一人がしっかりと辛抱をし、努力をしたことで、こうして無事に2学期の始業式を迎えることができました。

2学期も辛抱したり努力したりする日々が続きます。そこで今日は、「我慢」と「辛抱」の違いについて考えてみます。少し難しいお話です。

「我慢」と「辛抱」ですが、似ているようで違います。

「我慢」は、「我（われ・自分）」が「傲慢（ごうまん）になる」と書きます。元々の意味からは変わり、現在では、嫌なことに対して、また、苦しいことに対して「我」を抑えて無理やり耐えるということを言います。気持ちとしては、後ろ向き（ネガティブ）です。ですから、この我慢を無理して続けると心や体が悲鳴をあげてしまうかもしれません。

一方、「辛抱」は、「辛いこと」を「抱える」と書きます。辛いことや嫌なことに対して、耐えるということは同じですが、状況や状態を受け入れた上で耐えるという意味があります。さらに、辛抱には、「好きなことのために耐えること」「いずれ実っていく、できるようになる、という希望がある」と言ったニュアンスが含まれます。気持ちとしては、前向き（ポジティブ）です。

ですから、今の皆さんは、家や学校での生活に「我慢」しているのではなく、「辛抱」しているのです。困難なことを受け入れた上で、今、自分ができることは何かを自分の頭や心で考え、行動できる旭小「よい子」の皆さんになれるよう、2学期も先生方は努力していきます。

2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まだまだ私たちも「辛抱」する日が続きます。教育活動も多くの制約がある中で、創意工夫をしながら、子供たちのために実施していきます。しかし、必ず、明るい未来があります。数々の困難に負けずに生き抜いてきた人類の歴史がそう教えてくれます。

あらためまして、保護者・地域の皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。



生活目標
はっきり
すっきり
「はい」と
返事をしよう。

の行事予定

学年	男子	女子	合計
1年	9	8	17
2年	15	12	27
3年	13	15	28
4年	13	8	21
5年	18	15	33
6年	16	18	34
なかよし	6	5	11
合計	90	81	171



臨時スクールバス

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	クラブ活動	16	水	ブックトーク（3年）
2	水		17	木	
3	木		18	金	修学旅行保護者説明会 ふれあいデー
4	金	内科検診 13:30～	19	土	
5	土	土曜日授業 給食あり	20	日	
6	日		21	月	敬老の日
7	月		22	火	秋分の日
8	火	クラブなし6時間授業	23	水	
9	水	保幼小相互体験研修	24	木	学区内清掃
10	木		25	金	特別日課6時間 巡回相談
11	金	防犯教室・非行防止教室	26	土	
12	土	P T A 資源回収	27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	委員会活動 教育相談日
15	火	クラブなし6時間授業	30	水	

旭小フォトギャラリー



6年1組の菰山翔さんが
1日市長を体験しました。（8月7日）

昇降口にミストシャワーを
設置しました。

引き渡し訓練（8月17日）

保護者の皆様へ

学校生活上の新型コロナウイルス感染症拡大防止についての配慮事項を改定し9月7日より実施します。詳しくは後日配付される手紙 ホームページをご覧ください。

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きていく